

支援教育部ニュース

令和2年2月発行
発行：八尾支援学校
文責：北野 香

私は子どもを思うが故の行動と思っているけれど、世間とズレているかもしれない。

10年ほど前、支援学校の教員になって間もない方からお聞きしたことを、漫画にしてみました。



排泄にまつわることは、時に下の4つの場面のように迅速な対応が求められることがあります。教員のプロ意識、人権意識が試される場面でもあります。



ある先生がされていた対応がステキだったので紹介します。



先生の数だけ関わり方が異なります。しかし、表面の漫画のように、「一般的、客観的な感覚」に立ち戻ることを忘れてはいけませんよね。「今の危険ですよ」「先生のその考え、子どもに寄り添っているとは思いますが、世間一般ではどうなのかな」「今日の先生と〇〇さんとのやりとり、わかりやすく、ステキでしたよ」とお互いに気軽に、声を掛け合いましょう!!

